

仕様

電源	単相 200V	
消費電力	右ヒーター	1,500W, 約 75W~1,500Wまで10段階火力調節
	左ヒーター	2,000W, 約100W~2,000Wまで10段階火力調節
	中央ヒーター	1,000W, 約 50W~1,000Wまで10段階火力調節
	グリルヒーター	
ヒーター切換	中央ヒーターとグリルヒーターの切換	
コードの長さ	0.6m	
差込プラグ	単相200V用 250V-30A (接地極付) Ⓞ	
大きさ	本体	幅60.6cm 奥行 57cm 高さ24.7cm
	グリル	幅21.5cm 奥行32.5cm 高さ8.7cm(有効5.0cm)
重さ	約20kg	

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

直ちに専用回路のブレーカーを切って使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスを依頼するときは

次のことをお知らせください。

- ①品名……………日立クッキングヒーター
- ②形名……………HT-D4456MB形
- ③症状……………できるだけくわしく
- ④道順……………付近の目印も

転居される場合は

ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

アフターサービスについて

ご不明の場合、その他お困りの場合は

お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、右記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコーくらしのダイヤル—家電品のお買物相談は—
☎0120-312111
(フリーダイヤル・無料 年中無休9-20時 東京で受信)

保証について

- この商品は保証書付です。
- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容を確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。保証期間中でも有料となることがありますので保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

- クッキングヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

日立家電販売株式会社 株式会社 日立ホームテック

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03)3502-2111

取扱説明書



家庭用

日立クッキングヒーター HT-D4456MB形

このたびは日立クッキングヒーターをお求めいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後はご相談窓口一覧表、保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

各部のなまえ……………	1
使いかた……………	
ヒーター……………	2~3
グリル……………	2~3
調理タイマー……………	4
お知らせタイマー……………	4
必ずお守りください……………	5
じょうずな使いかた……………	5
お手入れ……………	6
仕様……………	7
アフターサービスと保証……………	7

特長

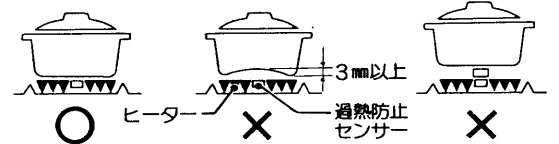
温度過昇防止機能 (右ヒーター, 左ヒーター)

調理中、鍋の温度が異常に上がったとき自動的に通電を停止し、温度が下がると再び通電を始める過熱防止センサーを右ヒーターと左ヒーターにつけています。

天ぷら調理などのときに、右ヒーターまたは左ヒーターを使うと油の温度が上がり過ぎることがなく安全です。

過熱防止センサーを正しく働かせるために……

- 底の平らな鍋をお使いください。土鍋の場合は過熱防止センサーが働きません。
- センサーと鍋底の間に異物を入れないでください。
- センサーには煮汁・水などをかけないでください。



切り忘れ防止機能

安全のため各ヒーター共連続して1時間使用すると自動的に通電を停止します。(1時間以上連続して使うこともできます。)

調理タイマー

セットした時間が経過すると自動的に通電を停止します。長時間の煮込み料理などに便利です。

ランプ点滅によるやけど注意表示

使用後でもヒーターが熱い間はランプが点滅し、やけど防止のため注意表示をします。

お知らせタイマー

時間の経過したことをブザーでお知らせします。風呂に水を入れるときや、料理時間の目安にお使いください。

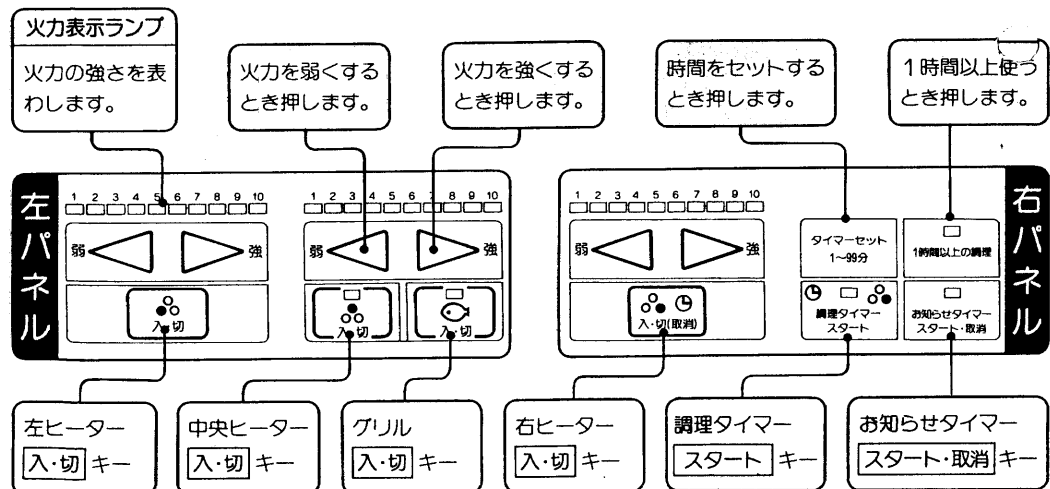
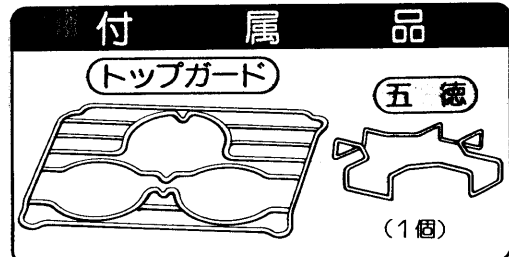
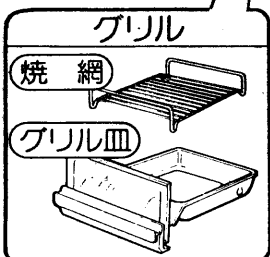
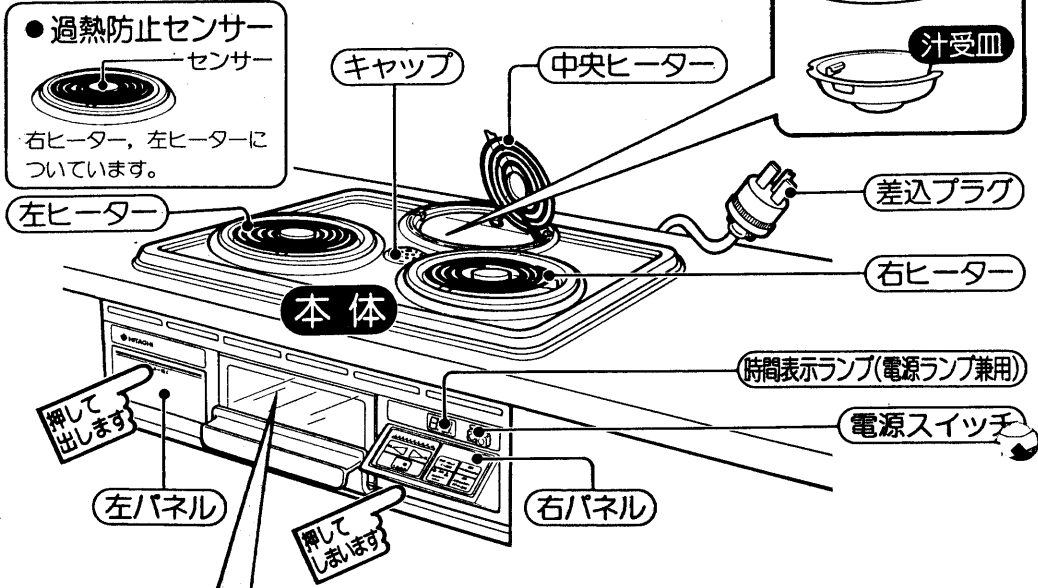
トコ火と保温もできる火力調節

火力調節が幅広くできるのでコトコト煮込むトコ火や保温ができます。

グリル温度過昇防止機能

グリルに水を入れないで魚などを焼いたりして、温度が異常に上昇したときグリルヒーターの通電が自動的にとまります。

各部のなまえ



使いかた

ヒーター (五徳の使いかた... 均一な熱が必要 焼くとき使いま)

1 パネルを出して 電源スイッチを入れます

2 キーを押します

「カチツ」と音がするまで押してください。

右のパネルも左のパネルも、パネルの上部を押すと斜めに出ます。

火力表示ランプが全て点灯します

連続して1時間以上使う場合

点灯

全てのヒーターは安全のため、連続1時間使用すると自動的に通電を停止するようになっていますが、**1時間以上の調理**のキーを押すと1時間以上でも連続して使えます。

点灯

入

入・切

入・切のキーは一度押すとヒーターへ通電され、更にもう一度押すと停止されます。

パネル上部のスキマには指を入れたり、物を入れないでください。

グリル (中央ヒーターを使っているときは中央ヒーターを切にしてからグリルのキーを押してください。(同時には使えません))

1 グリル皿に 水を入れます

2 予熱します(1~2分)

コップ1杯ほどの水を入れます。

取り出すときは少し持ち上げるようにして引き出す。

点灯

入・切

入・切のキーを押します。この上のランプが点灯しグリルの使用を示します

水を入れないと煙が多く出たり、庫内の汚れがひどくなります。

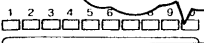
予熱をすると魚などが焼網にこびりつきにくくなります。

が必要なホットケーキや、網もちなどを
使います。

3 火力調節のしかた

火力表示ランプ
消灯

火力表示ランプを見なが
らキーを押します。



火力調節キー

押したままでいると順次
点灯または消灯します。

火力の目安

火力表示ランプ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
左ヒーター	深火	中火	弱火	弱火	弱火	弱火	弱火	弱火	弱火	弱火
右ヒーター	深火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火
グリル・中央ヒーター	深火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火	中火

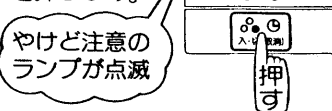
の
目
止
ま
す
の
上
す。

に、更に

火力表示ランプの「1」が点灯しているときは保温に適した火力になっていることを表わします。点滅しているときは「ヒーターへの通電は停止しているが、ヒーターがまだ熱い」という注意表示です。

4 使い終わったら

① 入・切のキー
を押します。



やけど注意の
ランプが点滅

② 電源スイッチ
を切ります。



③ パネルを
「カチツ」と
音がするまで
押ししまい
ます。



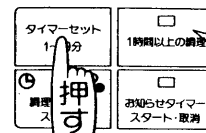
やけど注意のランプが点滅している
ときに電源スイッチを切ると点滅も
消えてしまいます。

調理タイマー (右ヒーターにだけセットできます。)

1 時間をセットします

45

1~99分まで
セットでき
ます



調理タイマー
のときは押す
必要はありません

(45分にセットする場合)

お知らせタイマーを使っているときは調
理タイマーは使えません。

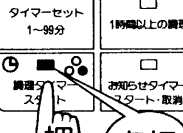
セット時間を
変更する場合

右ヒーターの「入・切(取消)」キーを押してください。
前にセットした時間が「00」になりますので、再びセットをやり直して
ください。

2 調理タイマー スタート キーを押します

45

コロンが点滅し調理タイマーが
動作していることを示します



時間の経過とともに数字が少
なくなります。セットした時
間が経過すると表示は「00」と
なり、ブザーが鳴って右ヒー
ターへの通電を停止します。

調理タイマー動作中は「タイマーセット」キーを押
しても時間変更はできません。

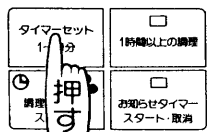
お知らせタイマー

(ヒーターとは無関係に時間の経過し
たことをブザーでお知らせします。)

1 時間をセットします

30

1~99分まで
セットでき
ます



(30分にセットする場合)

調理タイマーを使っているときはお知ら
せタイマーは使えません。

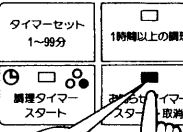
セット時間を
変更する場合

「お知らせタイマースタート・取消」キーを押してください。前にセットし
た時間が「00」になりますので再びセットをやり直してください。

2 お知らせタイマー スタート・取消 キーを押します

30

コロンが点滅し、お知らせ
タイマーが動作しているこ
とを示します



時間の経過とともに数字が少
なくなります。セットした時間
が経過すると表示は「00」と
なり、ブザーが約30秒間鳴ります。
ブザーを途中で止めるときは
「お知らせタイマースタート・取消」
キーを押してください。

お知らせタイマー動作中は「タイマーセット」キー
を押しても時間変更はできません。

3 魚など焼くものを入れます

- 上面がお好みの焼け具合
になったら裏返してくだ
さい。
- 火力が強すぎる場合は調節
してください。
- 通電をやめるときはキーを
もう一度押してください。

焼網の高さを変えられます



厚い魚の場合



薄い魚の場合

- グリルのガラスに水がかかると割れることがありますのでご注意ください。
- グリルは通電をやめても余熱で高温になっています。調理物を入れたままにしておくことが
あります。ありますので早めにグリルから出してください。

必ずお守りください

感電・火災・やけど
故障を防ぐために

<p>電源は正しく</p> <p>電気工事店または施工主に工事が確実にこなわれているかご確認ください。</p>	<p>やけどに注意</p> <p>使用中、使用直後はヒーターは熱くなっています</p>	<p>長期不在のときは</p> <p>差込プラグを抜くか、専用回路のブレーカーを切る</p>
<p>使用中の注意</p> <p>天ぷらなど油調理中その場を離れないで</p>	<p>ヒーターの空焼はしないで</p>	<p>魚焼きなどの汁のたれるものは網焼きしないで</p> <p>塩分 厳禁</p> <p>おみそ汁などのふきこぼれにも注意しましょう。</p>

毎日器具まわりの点検をしましょう

- 燃えやすいものがそばにありませんか。プラスチック容器、まな板、食用油、ふきんなど燃えやすいものを器具のそばに絶対に置かないでください。
- 電源スイッチの「入」「切」はしっかり確かめましょう。お子様のいたずらや切り忘れに注意し、使用しないときは電源スイッチを「切」にしてください。

じょうずな使いかた

<p>底の平らな 深目のなべを</p> <p>なべ底が平らなものは熱効率が良い、深目のものはふきこぼれを少なくします。凸凹の底形状のなべでは熱効率が悪くなります。</p> <p>● なべの大きさはヒーターの直径と同じか、やや大きめが適しています。</p>	<p>ゆでものはうす手、煮込みは厚手のなべを</p> <p>青菜などをゆでるときは、うす手のなべを、シチューなどの煮込みは厚手のなべを使用してください。</p>	<p>余熱を利用 しましょう</p> <p>ヒーターを「切」にしても相当の余熱が残りますので、焦げつきなどを防ぐために少し早めに切る感覚でお使いください。</p>
--	---	--

お手入れ

本体がさめてから行ってください。

<p>本体・ヒーター</p> <p>固く絞った布でふいてください。</p>	<p>本体以外の部品</p> <p>取りはずして洗剤を入れた水で洗い、その後乾いた布で水気をふきとってください。</p> <p>お手入れ後はもとどおり取りつけておいてください。</p> <p>こびりつきがひどい場合</p> <p>しばらく湯につけておいてから洗ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効率よくご使用いただくために、いつもきれいにしてお使いください。 ● シンナー、ベンジン、みがき粉などは、表面をいためますので使用しないでください。
--	---

リング、汁受皿のはずしかた・つけかた

はずしかた

- ① ヒーターの前面に手をかけて後(つけ根)へ押し、支持金具を掛け金具からはずします。(中央ヒーターのつけ根は右側です。)
- ② リングの切欠部にヒーターを合わせるようにしてリングをはずします。
- ③ 突起部に手をかけて汁受皿を取ります。

つけかた

- ① 汁受皿の切欠部をつけ根に合わせてセットします。
- ② リングの切欠部にヒーターを合わせるようにしてリングをセットします。
- ③ リングの穴部と掛け金具を合わせ、支持金具を掛け金具にセットします。

仕
電
消
ヒ
コ
差
大
重
フ
使
用
直
ち
お
買
ア
フ
次
の
①
品
②
形
③
症
④
道
転
居
ご
転
入
を
相
談
紹
介
ア
フ
お
買
お
買
覧
表
ご
使
て
お
の
場